

北海道の植物の数値情報の紹介

日野間 彰

筆者は十数年前より、北海道の植物（特に植物群落）について様々な形で報告されてきた資料をデータベース化する試みをしてきている。その一部はすでに「北海道高等植物目録」において公表してきたほか、北海道植物友の会の講演会においても紹介している。本短報では、現在登録されているフィールドデータの概要を報告するとともに、登録データを基に記録件数の多い6種類の植物について道内における分布図を作成してみた。

現在データとして登録されている資料数（調査票ベース）は総計13,504件で、調査方法別にみると方形区法によるものが8,345件と最も多く、植物目録（フロラのメモまでを含む）として報告されているものが3,418件となっている。

このデータベースの中で記録されている植物の名前（実際にはコード）の記録回数は延べ25万回にのぼり、その約60%が方形区データである。植物の種類（分類単位）ごとの記録回数から、概括的な意味で、北海道における植物の出現頻度の比

較が可能と考え、おおむね変種以上の分類単位の区分に基づいて出現頻度を計算してみた。その結果、記録回数の多い植物はエゾイタヤ、ミズナラ、トドマツ、オオヨモギ、ヤマブドウなどであり、記録回数の多い順に上位24種類の植物を並べると下図のとおりとなる。これらの植物は、少なくとも北海道内での植生調査のフィールドにおいて、最も出会う確率の高い仲間であるといえる。

最後に、記録回数の多い6種類の植物について作成した分布図を紹介する。

参考文献

伊藤浩司、日野間彰；

北海道高等植物目録Ⅰ、73pp.(1985)

北海道高等植物目録Ⅳ、244pp.(1987)

伊藤浩司、日野間彰、中井秀樹；

北海道高等植物目録Ⅱ、288pp.(1990)

日野間彰；

北海道の林、苔多尼訶4：16-21(1989)

